

平成19年4月10日

各 位

会社名 株式会社レナウン
代表者 代表取締役社長 岡 康久
(コード番号 3606 東証第一部)
問合せ先 経営企画室広報担当部長
伊東 甲二
(TEL: 03-5496-8485)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年10月16日に公表いたしました平成19年2月期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 19年2月期業績予想数値の修正（平成18年3月1日～平成19年2月28日）

（連結）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	180,000	700	△2,400
今回修正予想 (B)	176,200	1,600	△2,900
増減額 (B-A)	△3,800	900	△500
増減率	△2.1%	128.6%	—

（単体）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	93,800	1,100	300
今回修正予想 (B)	92,400	1,400	△200
増減額 (B-A)	△1,400	300	△500
増減率	△1.5%	27.3%	—

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値が異なる可能性があります。

2. 修正の理由

売上高につきましては、基幹ブランドを中心に堅調に推移し、暖冬の影響を受けつつも、全体としては予定を若干下回る水準にとどまりました。

一方、経常利益につきましては、アクアスキュータムロンドンの積極投資による費用の増加があったものの、レナウンを中心に販売管理費の削減に努め、加えて、合併に伴う生産機能の一元化等による仕入コストの低減による売上利益率の改善等により、予想を大幅に上回る1,600百万円となる見込みであります。

当期利益につきましては、遊休資産の売却による固定資産売却益約2,000百万円を特別利益に計上し、一方、営業収益力回復の目処が立ったことから、次期以降における更なる成長基盤を固めることを前提に過去の負の遺産を一掃すべく、固定資産売却損約370百万円、生産機能の再編による事業所閉鎖損約200百万円、関連会社に対する貸倒引当金約300百万円、株式評価損約300百万円、債務保証損失引当金繰入約1,000百万円等を特別損失として計上した結果、予想を下回る見通しとなっております。

なお、単体に関しましては、売上高は、概ね連結と同様に推移しており、暖冬の影響を受けつつも、予想を若干下回る水準にとどまりました。

一方、経常利益につきましては、連結と同様に、予想を大幅に上回りました。

当期利益につきましても、連結と同様に、予想を下回る見通しとなっております。

以上から、当社の通期業績予想を標記のとおり修正いたします。

以 上